

題字 / 原田 美哉



通学合宿「いっしょに」元気な声で学校へ。腕を振った食事は格別においしくできました(左上)
※詳細はP7「公民館長のほっこりばなし③」をご覧ください

特集

ひとりでなやまないで



公民館報いっしょには「水なし印刷」という環境に配慮したシステムで印刷しています。温室効果ガス排出を減らす(ゼロカーボン社会の実現)と同時に揮発性有機化合物(VOC)排出低減にも効果があります。用紙は「グリーン購入法適合紙」を使用し、SDGs(持続可能な開発目標)の実現に取り組んでいます。

主な掲載記事

- ひとりでなやまないで 2~5
- おじゃまします・あっちこっちこの町 6
- ほっこりばなし・ねがい・ど〜こだ!? 7
- 公民館ダイアリー・掲示板など 8~10
- アルバムからこんにちは・さんぽ道 11
- はぐくむ・「組踊」特別鑑賞会報告 12

「ど〜こだ!?」では、答えを募集しています!ぜひ、ご応募ください!!



いいつな保健室の皆さん

ひとりでなやまないで

皆さん、町の保健室「いいつな保健室」を知っていますか？

編集委員が町民を対象に独自に行ったアンケート調査結果では、

「そもそも『いいつな保健室』って何？」「どんな人が、どんな活動をしているの？」

といった疑問が多く寄せられました。

そこで、普段の活動内容や現在開催中の講座*を企画した意図についてインタビューしました。

また、7月に開催された第1回目の講座の様子を紹介します。

※人間の性のあり方「セクシュアリティ」について考える講座を7月から10月にかけて全3回開催
(飯綱町まちづくり活動支援事業を活用)

編集委員 西村 啓大、木賀田 宏之、三原 彩音

「いづな保健室」?

「いづな保健室」は、多世代交流施設「メーラプラザ」で毎週水曜日の午後、町のコミュニティスペース「ZQ」で毎週金曜日の午後が開か

れている、町の保健室です。羽田澄子さん（元養護教諭・カウンセラー）を中心に、池田智子さん（元小中学校職員）、川内野千代さん（助産師）、元会社員の唐木田由起子さん、森山友子さんの5人でボランティアとして活動しています。

この「いづな保健室」は、2018年に羽田さんの発案で開設しました。児童・生徒の体調不良やケガの対応だけでなく、何か困ったことや苦しいことがあったときに相談のつてくれる「学校の保健室」。そんな「保健室の先生」

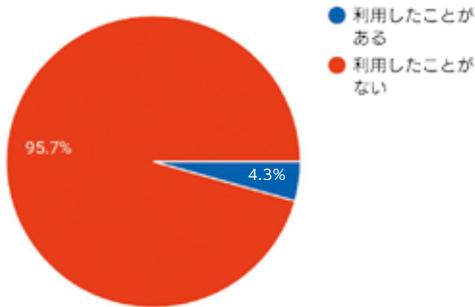
を長年務めていた羽田さんは、子どもたちやその保護者のあらゆる相談に対応しながらも、「学校という限られた時間と場所のなかで、一つ一つのことに丁寧に向き合うことができないジレンマを抱えていた」といいます。そこで「いつでも行ける保健室、学校を卒業してからも行ける保健室、大人も行ける保健室がまちにあっても良いのでは?」と考

え、養護教諭を退職後、町の保健室を開くことにしたそうです。 識を活かし、相談者のニーズに寄り添って、きめ細かに対応にあたっています。 最も大切に行っていることは、話を聴くこと。一緒に考えて、見守ること。どんな気になっても、保健室側から連絡はしないといえます。「とにかく話してよかったな」と思ってもらえたら。それでも「風の便りで元気ががんばっている」と聞くと、よかったです。何もしないようなので何かのためになっているのかなと思えて、嬉しいですね。



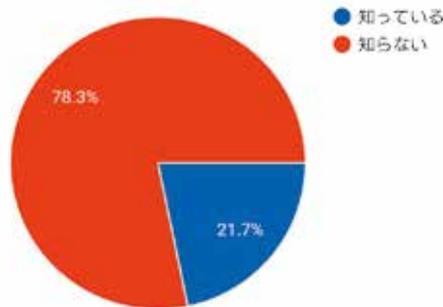
インタビューの様子

23件の回答



「いづな保健室」を利用したことがありますか?

23件の回答



「いづな保健室」の存在を知っていますか?

話を聴き、一緒に考える

「いづな保健室」への主な相談は、子どもの発達や学校のこと、家庭のことが大半を占めています。相談は、5人のメンバーのうち複数人で受けることもあれば、1人で受けることも。井戸端会議をするような雰囲気が良いのか、じっくり1対1で話をしたいのかなど、相談者の希望に添って、対応の仕方を決めているそうです。また、5人のメンバーそれぞれの性格やこれまでの人生経験、専門的知

識を活かし、相談者のニーズに寄り添って、きめ細かに対応にあたっています。最も大切に行っていることは、話を聴くこと。一緒に考えて、見守ること。どんな気になっても、保健室側から連絡はしないといえます。「とにかく話してよかったな」と思ってもらえたら。それでも「風の便りで元気ががんばっている」と聞くと、よかったです。何もしないようなので何かのためになっているのかなと思えて、嬉しいですね。

性について みんなで考える

保健室開設から6年目。羽田さんは、人間と性、教育研究協議会（性教協）長野サークルで長年学ぶなかで、保健室に寄せられる相談の問題の根幹は、人権問題であり、セクシュアリティ（人間の性のあり方）教育を普及させることが問題の解決につながるの

講座チラシ

ではないかと考えるようになってきました。世界では2009年にユネスコやユニセフ、WHOなどの団体が共同で「国際セクシュアリティ教育ガイダンス」を公表しましたが、日本でこのガイダンスが和訳され、出版されたのは2018年。そうした事実からも羽田さんは「日本は性教育に関して遅れていると感じる」といいます。そこで、町の支援事業が活用できることを知り、今回の講座「包括的セクシュアリティ教育をあなたに」学びの体験シリーズ「なーんだ そうだったのか…」を企画しました。

「人の数だけ性がある」

第1回の講座におじやました。講座の話の中で印象的だったのが、「性別思い込みあるある」と「性を決める4要素」です。

第1回(7月27日)「性別って1つじゃないの?」「人の数だけ性がある」、第2回(8月24日)「はてなBOXを開いて見よう」「目には見えない、ホルモンの仕事?」、第3回(10月19日)「はごいね、体のメカニズム」「命を生み出す工場が動き出す」とそれぞれ題し、老若男女問わず、みんなでセクシュアリティについて考える機会としています。

「性別思い込みあるある」は、この町でもよくあることで、「正にあるある!」という感じでした。①体力的にハードな活動を女性に頼むのはかわいそう②女性は感情的になりやすい③男性なら人前で泣くべきじゃない④家庭科や国語は女子が得意⑤組織のリーダーは男性⑥子どもの授業参観に行くのは母親。この6つの例が上がりました。皆さん、思い当たるでしょうか。そして、性を決める4要素は①好む性②こころの性③体の性④表現の性の4つがあるというお話でした。

皆さんは「LGBTQ」という言葉を聞いたことがありますか? L=レズビアン、G=ゲイ、B=バイセクシュアル、T=トランスジェンダー、Q=クエッシング、今では「SOGIE(ソジー)」という呼び方に世界的に変えているそうです。SOGIEとは、Sexual Orientation

(好む性)、Gender Identity(こころの性)、Gender Expression(表現の性)の頭文字をとった言葉で、LGBTQが「どんな人」であるかを表しているのに対して、SOGIEは「性の要素そのもの」を表しています。SOGIEは「自分ゴト・誰もが当事者」であり、多様な性(性自認、性的志向、性表現など)を認め合うことを表現しています。とはいえ「SOGIEハラ」は多く見られます。

SOGIEハラを見かけた際の対処はどうしたらよいのでしょうか? ①注意する(それってハラコメントですよ!) ②スイッチャーになる(話題を切り替える) ③シエルトになる(ハラコメントを受けた人の後ろから声かけ等でフォローする) ④同調しない(一緒に笑わない) 「私たちにできることは、前述のようなこととして、マイノリティー(少数派)の人を理解し支援する人『ALLY(アライ)』味方』になる人を増やしていくことです」と羽田さんは話していました。

LGBTQとは

- L: レズビアン (女性同性愛者)
- G: ゲイ (男性同性愛者)
- B: バイセクシュアル (両性愛者)
- T: トランスジェンダー (性別不合)
- Q: クエッシング (性自認、性的指向が不明確)

LGBTQとは

4 LGBTQ→SOGIE(ソジー)へ 誰もが持っている性の要素の略語

LGBTQ→SOGIEへ



講座の様子(7月27日)

お話の後は3つのグループに分かれ「なーんだ そうだったのか」という自分の体験談を話し合うワークショップ(座談会)を行いました。そのなかで「環境に合わせて変化することが大切」「みんなが学べる環境が必要」「メディアがしっかり伝えることが大切」「SOGIEという新しい発見」「子どものランドセルの色を選ぶ自由を与える」など、参加者それぞれに「なーんだ そーだったのか」ということを改めて見直すことができましたと思います。

講座参加者募集中

いづな保健室では、第3回(10月19日)の参加申込を受け付けています。当日は、午後1時半受付/1時45分開始/3時終了予定。会場は、町民会館・元気の館。申込・問合せは、いづな保健室(☎080・1165・7277 または✉hoken1127@gmail.com)へ。申込の際は、名前・住所・連絡先・参加人数をお知らせください。申込締切は、10月12日(土)。みなでセクシュアリティについて、考えてみましょう。



講座後の座談会の様子(7月27日)



せんぜ畑からの100年フード



それぞれの立場で「やたら」について語っていただきました

8月1日にりんごパークセンターで「やたら」100年フード認定報告会が開かれました。パネルディスカッションでは「100年フードとやたら」と題し、それぞれの立場から「やたら」が語られました。

冒頭、いろいろな歴史ふれあい館の小山丈夫学芸員から「100年フード」は令和3年度に文化庁で創設された認定製の制度です。本年3月5日付けで認定されました。「やたら」は実に自由な食べ物で、町内で開催中の「やたら祭」においても和・洋・中様々な料理にアレンジされています」との紹介がありました。

今回、飯綱町と連名で認定された「だんだりの会」初代会長の宮本久子さんは「会の活動も認められたのだな」とうれしく思っています。会では『食と風土記』を発刊し、食を通して四季の仕事や暮らしを紹介しました。お金さえ出せば何でも手に入る時代ではありませんが『米と味噌は蔵にある』『屋敷を一回りすれば、その日の食材が間に合う』の志は変わりません」と振り返りました。

続いて現会長の黒柳博子さんは「子どもたちに『やたら』を教えに行きましたが、その子が家に帰ってチーズとトマトをフードプロセッサで細かくして『やたら』を作ったそうです。子どもの自由な発想が素晴らしいと思います。それぞれの家にそれぞれの『やたら』があり、野菜の切り方も細かいのやそうでないもの、様々なのが楽しいですね」と語りました。

最後に長野県立大学中澤弥子教授から「やたら」という名前に魅力を感じます。細かい決め事のない、自由な料理だと思えます。小学生がオリジナルの『やたら』を作って発表するのも楽しいですね。



会場には町内19店の自慢の料理が並びました

この町には高校もありますから、高校生に挑戦してもらうのも良いと思います」とのコメントがありました。

質問コーナーでは「味噌漬の漬け方」について質問がありました。宮本さんからは「まず豆を10キロ育てて味噌を作り、その味噌で味噌漬けを作りましょう」。黒柳さんからは「味噌漬は味噌樽の一番下に入れておくと、味噌が終わったところによく漬かった味噌漬けが顔を出すからそれをおいしくいただきましたよ」との回答がありました。

せんぜ畑に豆をまき、味噌を作り、味噌漬けが漬かったら、再びせんぜ畑で茄子や茗荷を取ってきて「やたら」を作る…それがこの町の「100年フード」です。

(高橋弘之)



タイトル/近藤 理香

No.76 天狗の街灯



牟礼駅前の天狗の街灯

飯綱町に住んで身近になった天狗。町の一部の街灯にも天狗がいるのに気づいたときは驚きました。それにして、天狗ってなんだろう。日本の妖怪？ いったらいる？ 気になったので少し調べてみました。

まず江戸時代の書物によれば、日本には48種12万5500の天狗がいたそうです。その中でも特に強い力を持つ8人の天狗は

「日本八天狗」と呼ばれ、八天狗のひとり飯縄山に在る「飯綱三郎」です。ちなみに同じ八天狗で京都の愛宕山に在るのは「愛宕太郎坊」。三郎に太郎：なんとも人間らしく、人と天狗の距離の近さを感じます。歌川国芳の浮世絵にも八天狗を題材にした作品があり、飯綱三郎がかっこよく描かれています。

さて、天狗はいつ頃からいるのでしょうか。もともと古代中国で天狗は流れ星の意味だったようです。日本では平安時代後期から妖怪としての天狗がさまざまに記録に登場し、『源氏物語』にも人をだます天狗が出てきます。そして天狗は仏教ともつながり、善と悪、どちらの意味でも語られる存在となっていたようです。

まだまだ奥深い天狗の世界。町の天狗の街灯を見上げると、縦横無尽に飛びまわる天狗が今もどこかにいるような気がしてきます。

(入口 梓)

公民館長のほっこりばなし 3

朝7時半、大きな声で「行ってきますー！」
16名の子も達が合宿会場の松雲寺から元気に
小学校へと通っていきます。7月9日から12日の
3泊4日の日程で飯綱町初の試みとして通学合宿
が行われました。

通学合宿とは、異なる年齢の子も達が生活体
験を通じて自らの役割を意識し協力し合う心を育
むこと、「社会力や生きる力の向上」や「地域の子
どもは地域で育む」ことを目的とした取り組みです。
テレビやゲーム機から離れた生活を過ごし、仲間
や大人のスタッフとの時間を大切にしました。

自分たちで掃除をし、食事を作り、勉強する場
所を整えたり異年齢の子どもに教えたりするわけ
ですが、中でも食事づくりは子どもも大人も「大
丈夫かなあ？」という思いを持っていました。何
を作るのか、材料は何が必要か班ごとで考えて(大

人は口を出さず)決めて、各班で担当する日の夕食の献
立の食材を買い出しに行った時のことです。それぞれ班
に与えられた予算は30名分1万円でした。メインディッ
シュだけでなく、デザートやサイドメニューもあるた
め、みんな電車片手に四苦八苦しながら材料を選んでい
ます。すると一つの班が「お金が足りなくなりそう！フ
ルーチェの数、減らそうか？ほかに減らせるものあるか
な？」「オムライスのケチャップは調味料としてスタッ
フで買ってもらえますか。」と悩んでいました。その時、別
の班の班長さんが「うち8千円くらいで済んだから、う
ちの分の残りをほかの班に使ってもらってもいいよ。」
「ありがとう！」…無事、全ての班が予算内に買い物を済
ませることができました。

合宿中、こんなふう「ほっこり」する瞬間がいくつも
ありました。合宿が終わった後も地域の繋がりが子ども
も大人も続いていて、今もほっこりさせていたいただい
ています。

合宿に参加してくれた小学生、スタッフの皆さま、本
当にありがとうございました。

(公民館長 沖弘宣)

シリーズ人権ねがい 113

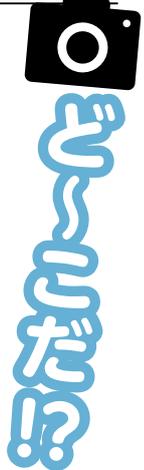
皆さん、成年後見制度をご存知ですか。この制
度は、判断能力が不十分な方々を、法律面や生活
面で保護したり、支援し
たりする制度です。具体
的には判断能力が不十分

成年後見制度について

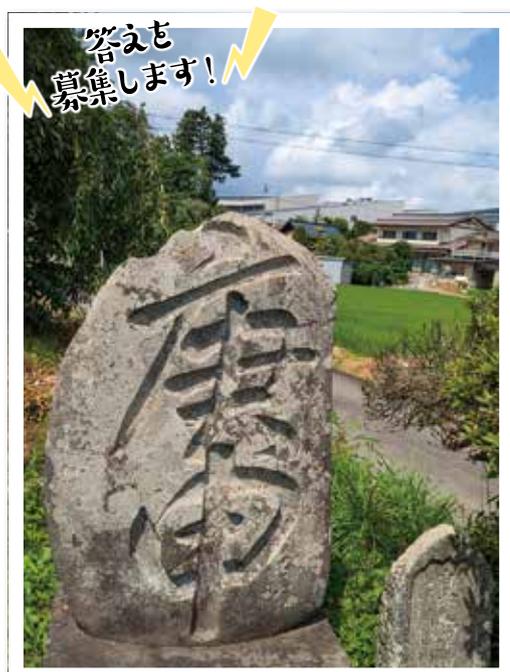
な方々へ法的な支援者をつけて財産面・日常生活
面で安心して暮らしていけるようにサポートしま
す。支援者としては、弁護士、司法書士の専門職
が選任されることが多いです。親族が支援者にな

ることもあります。監督庁は、家庭裁判所です。実際に
制度を利用してはいる方の中には一人暮らしをしている方
や、仕事をしている方など目標をもって生き生きと生活
している方も沢山いらっしゃいます。家庭裁判所も支援
者に対して本人の気持ちに寄り添った支援を求めるよう
になってきました。制度を利用している人にも、色々な
思いがあります。そういった思い
にだけ寄り添えるかが重要で
す。障害のある人もない人も互い
に尊重しあいながら不自由なく暮らせる社会を目指すこ
とが大事です。誰に対しても素直に向き合う気持ちを忘
れないようにしたいものです。

(人権教育推進委員 高野 哲浩)



これは、どこから撮った写真でしょう。
ヒント
後ろに見えるのは飯綱中学校
見る人は毎日見ているあの場所です！



112号「ど〜どこだ!?」答え

旧牟礼西小学校の入口です。

■下のQRコードを読み取ると112号の答えの位置図が表示されます。



正解した方の中から抽選で5名様にみつどんグッズをプレゼントします。皆さんのご応募お待ちしております。

応募様式：お好きな様式に、お名前・ご住所・電話番号・答え・公民館報の感想をご記入ください。

応募先：〒389-1211 飯綱町大字牟礼1989
飯綱町民会館内館報編集室
TEL:253-6560 FAX:253-6670
E-mail:gakushu@town.iizuna.nagano.jp

応募締切：10月31日(木)

抽選結果：プレゼント発送をもって当選とします。
※なお、お電話での受付は行っておりません。

いづな大学 教養講座を開催

〔7月3日〕

いづな大学では、教養講座として、「鳥居川を科学する」と題し、前いづな歴史ふれあい館長で技術士（応用理学部門・環境地質学）の富樫均さんに解説いただき鳥居川やその周辺の歴史について学習しました。



初めは鳥居川源流の見学でした。戸隠の森林植物園駐車場に着くと、鳥居川源流の様子が見えました。大学受講生からは様々な質問が飛び交い、皆さん興味津々の様子でした。移動の道中では、鳥居川の名前の由来となった鳥居を見たり、富樫さんには土地の成り立ちなどについて説明いただき、移動の時間も大変充実

していたようでした。

そこから少し移動し、念仏池を訪れました。親鸞聖人が池の端で念仏を唱えると、念仏に添えて地底が湧き返り、戸隠権現の霊験顕著と感激し、命名された池でした。今でも池の底から水が湧き出ていて、その不思議さに皆さん驚いているようでした。



最後はいづな歴史ふれあい館に新たに製作された飯綱町域地形模型を見ながら解説をお聞きしました。模型の構造にも注目しつつ、実際に見学した場所を復習したり、富樫さんへ質問をしたりして、熱心に学習に取り組んでいました。今回の講座で貴重なお話を聞き、身近な地域の歴史について、より奥深く知ることができました。

第16回飯綱町スポーツレクリエーション大会開催

7月7日（日）、第16回飯綱町スポーツレクリエーション大会が開催されました。天候にも恵まれた快晴の中、キックベースボール、モルック、ニチレクボール、ゲートボール、ふらばぐるバレーボールの5種目が行われ、それぞれ手に汗握る白熱した試合が繰り広げられました。



キックベースボール

Aブロック 優勝 栄町
Bブロック 優勝 倉井
Cブロック 優勝 小玉

ゲートボール

Aブロック 優勝 平出
Bブロック 優勝 福井団地
Cブロック 優勝 普光寺

モルック

Aブロック 優勝 赤東①
Bブロック 優勝 中宿①
Cブロック 優勝 坂上
Dブロック 優勝 赤東②
Eブロック 優勝 SUN②

ふらばぐるバレーボール

Aブロック 優勝 赤東
Bブロック 優勝 野村上
Cブロック 優勝 古町
Dブロック 優勝 倉井

ニチレクボール

Aブロック 優勝 袖之山
準優勝 普光寺

旧交を温める

― 飯綱町二十歳を祝う会 ―

本年も8月15日、飯綱中学校講堂において『飯綱町二十歳を祝う会』を町・町教育委員会・公民館主催で開催いたしました。本年の対象者は、中学3年生の時に新型コロナウイルスの感染が拡大した年であり、卒業式が簡素化されたり、進学先でも入学式が行われない高校があったりもしました。



その後もオンライン授業であったり、マスク着用が日常化されたことによりコミュニケーションにも戸惑ったことでしょうか。

コロナ禍を経て、『二十歳を祝う会』が久しぶりに会った友人との旧交を温める機会となったことに主催者として喜びを感じています。



■いづな大学公開講座、音楽鑑賞会開催のお知らせ

いづな大学では、音楽鑑賞会「バイオリン・チェロ・ピアノによる三重奏」を開催します。

演奏者は、外山陽子さん(バイオリン)、外山賀野さん(チェロ)、中川真由美さん(ピアノ)です。

入場は無料で、いづな大学を受講されていない方、町内町外問わずどなたでも鑑賞いただけます。この機会に、ぜひお越しください。

日時 10月23日(水) 午前10時から11時45分まで

場所 飯綱町民会館ホール

問合せ 飯綱町公民館 TEL2533-6560

■第13回町民運動会開催

10月20日(日)、ふれあいパーク運動場で、第13回町民運動会を開催します。

実行委員会では、皆が楽しめるプログラムを計画しています。

スポーツの秋。ぜひ参加して一緒に盛り上がりましょう。



■第10回飯綱町小学生駅伝競走大会開催

今年度も飯綱町小学生駅伝競走大会を開催します。現在、参加チームを募集しています。

日程 11月4日(月)

場所 飯綱町民会館周辺

その他 選手5名、補欠2名の7名以内でチームを作り、10月4日(金)までに飯綱町三水B&G海洋センターまでお申し込みください。

問合せ 飯綱町三水B&G海洋センター
TEL2533-8951



中学校図書館新着本

○転がる珠玉のように
ブレイディみかこ

○明智恭介の奔走
今村昌弘

○ボタン島漂流記
西條奈加

○新心霊探偵八雲 赤眼の呪縛
神永学

○命曰六つの愛の物語
瀬戸内寂聴

○首木の民
誉田哲也

○猫と罰
宇津木健太郎

○動物の義足やさん
沢田俊子

○がん闘病日記お金よりずっと大切なこと
森本卓郎

公民館図書新着本

■一般図書
◎話題の本も入りました
「芥川賞受賞作品」

★サンショウウオの四十九日
朝比奈 秋

同じ身体を生きる姉妹、その驚きに満ちた普通の人生。



■その他新着本
○クスノキの女神
東野圭吾

○ドクター・デスの再臨
中山七里

○当確師 正義の御旗
真山 仁

○凍空と日だまりとおもひたします
あさのあつこ

○海を破る者
今村翔吾

○六月のぶりぶりがぎっちょよう
万城目 学

○四季を味わう「木の実」料理
横山タカ子

○大原千鶴のひとり分ごはん
大原千鶴

■児童図書・絵本
○たった2℃で地球の気温上昇がもたらす環境災害
キム・ファン

○資料室の日曜日
村上しいこ

○なんのサンドイッチ?
たなかひかる

○かんぱんのないコーヒーマ
かめおかあきこ

○もりのはなやさん
ふくさわゆみこ

○こねこのミヌー
フランソワーズ

○イリエワニ
福田雄介

○わたしたちのケーキのわけかた
キム・ヒョウン

○恐竜トリケラトプスとパキリノサウルス
黒川みつひろ

○ちよっぴりながもちするそう
ヨシタケシンスケ

○その他、随時新着本が入っていますので、中学校図書館・公民館図書室へお出かけください

令和6年度 飯綱町スポーツ協会長杯小学生バレーボール大会



三水ジュニア選手による選手宣誓の様子



ギャラリーの応援を背に頑張る選手

7月15日(月)と7月28日(日)の両日、三水B&G体育館において「飯綱町スポーツ協会長杯小学生バレーボール大会」が開催されました。

今大会の趣旨は「小学生バレーボール普及策の一環として、所属するクラブ員がバレーボールの素晴らしさや楽しさに触れることのお機となるよう今大会を開催すると共に他チームとの交流を通じて、個人の心身における技術の向上及びチームとしてのモチベーションの生成を図ることにより、小学生バレーボール人口の拡大に寄与することを目的」として開催しています。

男女それぞれ8チームにより頂点を目指し試合を行いました。中には全国大会へ出場する2チーム

も含むハイレベルな戦いもありましたが、小学生らしく試合前後の挨拶・礼儀を重んじた大会で、入賞以外に「グッドマナー賞」も用意しました。

地元飯綱町から出場した女子バレーボール「いづな」及び男子バレーボール「三水ジュニア」は熱気あふれる会場で、日頃の練習の成果を精一杯発揮し大変有意義で貴重な経験ができました。

今回の大会で出場チームの選手と今まで以上に交流が深まることを期待しています。

選手の皆さん、大変お疲れ様でした。また、大会までの準備や当日の運営につきまして、「いづな」「三水ジュニア」大会関係者の皆様、大変ご苦労様でした。

令和6年度 東北部スポーツ協会親善ソフトボール大会

8月4日(日)飯綱町ふれあいパーク野球場において、飯綱町スポーツ協会主催の「東北部スポーツ協会親善ソフトボール大会」が開催されました。

大会の趣旨でもあります「親善」につきましても、最年少19歳から最年長77歳まで各チーム幅広い年代層で参加していただき、総勢68名による大会を開催することができました。

当日は猛暑の中ではありませんでしたが、好プレー・珍プレーが続出して、勝敗以外に親善や交流で十分楽しむことができました。

選手の皆さん、暑い中大変お疲れ様でした。また、大会までの準備や当日の運営につきまして、審判員や大会関係者の皆様、大変ご苦労様でした。



地元(そよかぜと三水)対戦の様子

令和6年度 第18回飯綱町民ゴルフ大会

8月4日(日)長野国際カントリークラブにおいて、飯綱町スポーツ協会ゴルフ部主催、飯綱町教育委員会共催の「第18回飯綱町民ゴルフ大会」が開催されました。

今大会の目的は「町民ゴルフ大会を通じてスポーツに親しみ、町民相互の融和を図り明るい町づくりの一助とする。なお、本大会は北信市町村並びに県市町村対抗ゴルフ大会の予選会を含む。」として途中新型コロナウイルス感染防止のため中断がありましたが、今年度は147名の参加者を迎え、第18回を実施することができました。

当日は、猛暑の中ではありませんでしたがそれぞれナイスショットやミスショットに一喜一憂して充実した大会が行われました。

北信五岳が望める飯綱町の大自然の中で「本大会を通じてスポーツに親しみ、町民相互の融和を図り明るい町づくりの一助」になったと思います。

大会に参加された皆さん、大変お疲れ様でした。また、大会までの準備や当日の運営につきまして、「飯綱町スポーツ協会ゴルフ部」等大会関係者の皆様、大変ご苦労様でした。



北信五岳が一望できる景観



プレーの様子

スポーツ協会の試合結果

- 子どもの部**
第9回電王カップエクスセレントリーグジュニアバレーボール大会
 期日 6月16日(日)
 会場 山ノ内町
 ○男子の部
 第3位 三水ジュニア
- 第44回全日本バレーボール小学生大会長野県大会**
 期日 6月30日(日)
 会場 軽井沢町
 ○男子の部
 第3位 三水ジュニア
- 令和6年度モルテン杯長野県小学生ソフトバレーボール大会北信地区大会**
 期日 7月14日(日)
 会場 須坂市
 ○男子の部
 準優勝 三水A
- 第3回県小学生ソフトバドミントン大会**
 期日 6月15日(土)
 会場 佐久市
 ○6年生以下男子の部
 第2位 北村 宏斗 榎矢
- 第2回BC Nagoya チャレンジバドミントン大会**
 期日 7月6日(土)
 会場 愛知県美浜町
 ○中学混合シングルの部
 第2位 北村 悠斗
- 第5回ジュニアバドミントン大会(秋映杯)**
 期日 7月7日(日)
 会場 長野市
 ○中学1年生男子シングルの部
 第3位 高野 理巧
 ○中学1年生女子シングルの部
 第3位 笠井 萌華
 ○小学5・6年生男子シングルの部
 第3位 石川 任
 ○小学4年生以下男子シングルの部
 第3位 森本 隆一
 ○小学4年生以下女子シングルの部
 第3位 笠井 愛菜
- 大人の部**
第34回上水内郡壮年ソフトボール大会
 期日 6月16日(日)
- 第57回上水内支部ゲートボール大会**
 期日 6月22日(土)
 会場 飯綱町ふれあいパーク運動場
 優勝 那加(飯綱町)
 準優勝 南部(飯綱町)
 第3位 小玉A(飯綱町)
 第4位 普光寺(飯綱町)
- 第44回上水内郡卓球競技大会**
 期日 6月23日(日)
 会場 飯綱町三水B&G体育館
 ○団体戦
 優勝 牟礼A(飯綱町)
 準優勝 三水(飯綱町)
 第3位 牟礼B(飯綱町)
- 一般男子
 優勝 若林 和人
 第3位 鈴木 駿
 ○一般女子
 優勝 大沼朋美
 準優勝 寺島 美奈
 第3位 今井 久美子
- シニア男子
 優勝 小林 勝彦
 準優勝 松井 信夫
 第3位 駒木 次男
 ○シニア女子
 優勝 矢島 千恵子
 準優勝 長崎 きし子
 第3位 小林 初子
- 第35回東北部スポーツ協会親善ゲートボール大会**
 期日 7月27日(土)
 会場 飯綱町ふれあいパーク屋内ゲートボール場
 第1位 志賀(飯綱町)
 第2位 栄町(飯綱町)
 第3位 普光寺(飯綱町)
- 東北部スポーツ協会ソフトボール大会**
 期日 8月4日(日)
 会場 飯綱町ふれあいパーク野球場
 優勝 那加(飯綱町)
 準優勝 飯綱町
- 第18回飯綱町民ゴルフ大会**
 期日 8月4日(日)
 会場 長野国際カントリークラブ
 優勝 宮沢 次男
 準優勝 袖山 寛茂
 第3位 島貫 厚志
 シニア優勝 水上 高広
 レディース優勝 松木 美沙

懐かしの飯綱中学旧校舎 は超モダンのだった？

この写真を見て、ピンツときたのは2012年以前の飯綱中学校生徒の方々ではないでしょうか？

飯綱中学校の旧校舎は1970年に建てられました。写真は完成当時の校内です。

吹き抜けの高いガラス張りの天井、1階教室前の廊下にはシユロの木が立つ中庭風のピロティがありました。54年前の校舎とは思えない斬新なデザインに感じます。2009年から現校舎

への改築工事が行われ、体育館が1年ほど使用できなかつたため、2009年度卒業式と2010年度入学式はこの広場がある廊下で執り行われました。

今年、27歳から68歳の元飯綱中学校生徒の皆さんは、休み時間や放課後

このシユロの木の下で友だちと過ごした懐かしい日々を思い出されたのではないのでしょうか？

ミロのビーナス像やダビデ像も思い出されます。
(宮澤)



写真提供：飯綱中学校

「俳句」

(飯綱俳友会)

後線に西日輝く北信濃

東 奈々子

夏のパリ金銀ラッシユ日本沸く

清澤今朝勝

朝靄が包む啼き声ほととぎす

高野 修

掛軸の花ゆらゆらと夏の午後

龍野 由子

空梅雨や異状気象の猛暑かな

寺島美恵子

梅雨晴れ間防除車一揆響きけり

中嶋 良秋

納屋の隅孫の虫籠ねむりおり

仲俣 一重

晩鐘の儂き余韻沙羅の花

日野 秀静

梅雨の森しじまを抜ける風の音

前野 泉

里山の茂りの奥へ道続く

田宮 秀英

「短歌」

机上這う小さき虫の行く手をば

坂井 寿男

塞げばしはし死に真似をせり

井澤喜世恵

今朝も雨きのう巢立ちし子ツバメは

大川けさみ

餌は捕れたかまだ梅雨明けぬ

矢野 玲子

マヨネーズ入れ忘れてた友思う

マヨネーズ入れ忘れてた友思う

ポテトサラダを作ればいつも

矢野 玲子

さんぽ道

この記事が出る頃はオリンピックの話題で盛り上がっているんでしょうね。その昔長野でも冬季オリンピックが開催され、2005年には同じ長野でスベシャルオリンピックが開催されました。

ちはあるものにとっても興味を持ちました。それは襖(ふすま)です。何度も何度も開けたり閉めたり、何か不思議な感じがして大盛り上がりでした。私の息子も同じ年恰好でしたので、一緒にピエダマンで遊んでいました。また、引率の方とはお酒をたらふく呑み、イヤフォンで聴きながらクイーンのボヘミアンラプソディを大合唱し、彼の葉巻を頂いてふかしました。

あれから19年経った今、彼らは元気にしていてでしょうか。子どもたちも良き思い出でいてくれたら嬉しいです。

(宮本)



～南部保育園紹介～



ひよこ組(0-1歳児)

「虫いたよ～!」「どこどこ?」みんなで虫探しを楽しんでいます。



あひる組(2歳児)

「ふーっ!」「こうやるんだよ」と、お友達とタンポポの綿毛を飛ばし楽しんでます。「フワフワ～!」と綿毛の感触も楽しんでいました。

うさぎ組(3歳児)

それぞれに色を選んで、うろこや目をつけて作ったこいのぼり!園庭に持って行って泳がせてみました。誰のこいのぼりが一番高いかな?「やねよいたかいー!」と歌いながら、うれしそうなお子様たちです。



ぱんだ組

ダンゴムシに夢中の子どもたち。絵本や図鑑を見て、何を食べるか調べたり、脱皮していく様子をじっと観察したり。気になることも、気づいたことも、どんどん大きく膨らんでいきます。



きりん組

春の遠足はどこに行こうか…遠足会議をして話し合って決めた子どもたち。自分の思いを言葉で伝える姿、友達の思いにも耳を傾け寄り添おうとする姿に成長を感じました。



重要無形文化財「組踊」特別鑑賞会報告

芸術文化・文化財保護活動に資するため「組踊」を鑑賞する機会を設け、青少年の健全な育成に寄与することを目的に、7月21日(日)午後2時から、会場を飯綱町民会館大ホールから飯綱中学校講堂に変更して「組踊」特別鑑賞会を開催しました。

当日会場には361名、また町民会館でのパブリックビューイングには8名の方がご来場され、臨場感あふれる会場で沖縄の伝統芸能「組踊」、琉球古語による台詞を中心に琉球古典音楽と琉球舞踊で組み立てられた沖縄独自の歌舞劇、日本のみならず世界に誇る日本の伝統芸能を十二分に楽しむことができました。

